

単元 「E 球技(ラグビー)」

1 単元目標

- (1) チームの課題や自己の能力に応じてラグビーの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。
(技能の内容)
- (2) チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。
(態度の内容)
- (3) チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。また、競技会の企画や運営ができるようにする。
(学び方の内容)

2 単元の評価規準

I 運動への関心・意欲・態度

ラグビーの特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。

- ① 技能の段階に応じて、作戦を立てて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。
- ② 練習やゲームで、チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。
- ③ 練習やゲームでは、審判の判定や指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとする。
- ④ 練習やゲームの場所の安全を確かめ、安全な練習方法で行おうとし、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。

II 運動についての思考・判断

チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫している

- ① チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。
- ② チームや自分の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見付けたりしている。
- ③ 技能の段階に応じて相手との攻防に合った作戦を立てている。
- ④ チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を選んだりしている。

III 運動の技能

チームの課題や自分の能力に応じて、ラグビーの特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。

- ① 自分の能力や課題に応じて選択した種目で、特性に応じた技能を身に付け、ゲームをすることができる。
- ② 身に付けた個人的技能や集団的技能を高めたり、新たに身に付けた技能で、攻防を展開してゲームをすることができる。
- ③ 技能の段階に応じて、相手との攻防にあった作戦でゲームや練習をすることができる。

IV 運動や安全についての知識・理解

ラグビーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し、知識を身に付けている。

- ① 選択した球技種目の特性に応じた集団的技術や個人的技術の構造について、言ったり、書き出したりしている。
- ② 技能を高めるための合理的な練習の仕方、練習計画の立て方について、具体例を挙げている。
- ③ ルール、審判法について、言ったり、書き出したりしている。
- ④ 競技会の企画や運営の仕方について、具体例を挙げている。

3 評価規準例 「球技（ラグビー）」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関心・意欲・態度	<p>①ラグビーの集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うラグビーの楽しさを自ら進んで味わおうとする。</p> <p>②練習やゲームで、お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。</p> <p>③審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。</p> <p>④練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。</p>	<p>①ラグビーの集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うラグビーの楽しさを味わおうとする。</p> <p>②練習やゲームで、自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。</p> <p>③審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。</p> <p>④練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に注意しようとする。</p>	<p>①ラグビーの集団的な技能に着目して、勝敗を競い合うラグビーの楽しさを味わおうとする。</p> <p>②練習やゲームで教え合ったり、励まし合ったりしようとする。</p> <p>③審判の判定や指示に従おうとしている。</p> <p>④練習やゲームの場所の安全を確かめ、健康・安全に注意しようとする。</p>
II 思考・判断	<p>①練習やゲームから、チームや自分に適切で具体的な課題を設定している。</p> <p>②発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。</p> <p>③技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見付けたり、作戦を立てたりしている。</p> <p>④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、新たに発見した課題に合わせ、練習やゲームの内容の見直しや、合理的な戦術を選んでいる。</p>	<p>①練習やゲームから、チームや自分の課題を設定している。</p> <p>②チームや自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。</p> <p>③技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。</p> <p>④チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。</p>	<p>①練習やゲームから自分の課題を設定している。</p> <p>②自分の課題をとらえ練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けている。</p> <p>③教師や仲間の助言を受けて、組織的な攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。</p> <p>④教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームを見直したり、課題を設定している。</p>
III 運動の技能	<p>①攻撃につながるようにタイミング良くボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②相手の状況に応じてコンタクトやタックルの動作ができる。</p> <p>③練習やゲームで、スクラム、ラインアウト、モール、ラックからの攻撃フォーメーションの動きがタイミング良くできる。また、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きがタイミング良くできる。</p>	<p>①ボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②コンタクトやタックルの動作ができる。</p> <p>③練習やゲームで、スクラム、ラインアウト、モール、ラックからの攻撃フォーメーションの動きができる。また、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。</p>	<p>①体勢を崩しながらも、何とかボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②体勢を崩しながらも、何とかコンタクトやタックルの動作ができる。</p> <p>③教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームで、スクラム、ラインアウト、モール、ラックからの攻撃フォーメーションの動きができる。また、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。</p>
IV 知識・理解	<p>①ラグビーは手や足でボールを操作し、身体接触が多いゴール型のゲームの特性があることについて、具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。</p> <p>②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について、具体例を挙げて説明している。</p> <p>③ラグビーに必要な集団的な技術について、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。</p> <p>④ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。</p>	<p>①ラグビーは手や足でボールを操作し、身体接触が多いゴール型のゲームの特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について、具体例を挙げて説明している。</p> <p>③ラグビーに必要な集団的な技術について、言ったり、書き出したりしている。</p> <p>④ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。</p>	<p>①ラグビーは手や足でボールを操作し、身体接触が多いゴール型のゲームの特性があることについて理解している。</p> <p>②ラグビーの技能を高める合理的な練習法について知っている。</p> <p>③ラグビーに必要な集団的な技術について知っている。</p> <p>④ゲームの運営の仕方について知っている。</p>

4 評価規準の評価観点例 「球技（ラグビー）」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関心意欲・態度	<p>①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム、ラインアウト、モール、ラック等）を適用しようとしている。</p> <p>イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）を適用しようとしている。</p> <p>②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には、積極的に賛辞を送ったり認めようとしている。</p> <p>③ア審判と協力して、ゲームの進行を円滑に行おうとしている。</p> <p>④ア危険なプレーが無いように、練習やゲーム前の点検（コート、ゴール、ボール等）を積極的に行おうとしている。</p> <p>イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損、けが等）に対し、適切に対処しようとしている。</p>	<p>①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム、ラインアウト、モール、ラック等）を理解しようとしている。</p> <p>イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）を理解しようとしている。</p> <p>②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には、賛辞を送ったり認めようとしている。</p> <p>③ア審判と協力して、ゲームの進行を行おうとしている。</p> <p>④ア危険なプレーが無いように、練習やゲーム前の点検（コート、ゴール、ボール等）を行おうとしている。</p> <p>イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損、けが等）に対し、対処しようとしている。</p>	<p>①ア状況に応じた攻撃システム（スクラム、ラインアウト、モール、ラック等）が必要なことを理解している。</p> <p>イ状況に応じて防御システム（マンツーマンディフェンス等）が必要なことを理解している。</p> <p>②ア練習やゲーム中にお互いに良いプレーができた時には、賛辞を送ろうとしている。</p> <p>③ア審判やゲームの進行に協力しようとしている。</p> <p>④ア危険なプレーが無いように、練習やゲーム前の点検（コート、ゴール、ボール等）が必要なことを理解している。</p> <p>イ練習やゲーム中に生じた問題（器具の破損、けが等）に対し、何らかの対処が必要なことを理解している。</p>
II 思考・判断	<p>①ア練習やゲームを通して、必要なトレーニング方法や戦術が何かを見い出そうとしている。</p> <p>②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して、話し合いや参考となる資料をもとにして、適切な対応を図ろうとしている。</p> <p>③ア各個人の技能に対して、必要な練習方法を状況に応じて適用している。</p> <p>④ア集団のレベルに応じて、必要な戦術や練習方法を検討し、適切に適用している。</p>	<p>①ア練習やゲームを通して、必要なトレーニング方法や戦術が何かを理解しようとしている。</p> <p>②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して、参考となる資料をもとにして、選択を図ろうとしている。</p> <p>③ア各個人の技能に対して、必要な練習方法を適用しようとしている。</p> <p>④ア集団のレベルに応じて、必要な戦術や練習方法を、適用しようとしている。</p>	<p>①ア練習やゲームのための必要なトレーニング方法や戦術を、教師や仲間の助言によって理解しようとしている。</p> <p>②ア必要なトレーニング方法や戦術に対して、教師や仲間の助言をもとにして、選択を図ろうとしている。</p> <p>③ア各個人の技能に対して、特定の練習方法があることを理解している。</p> <p>④ア集団のレベルに応じて、適切な戦術や練習方法があることを理解している。</p>
III 運動の技能	<p>①ア攻撃につながるようにタイミング良くボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②ア相手の状況に応じたコンタクトが確実にできる。</p> <p>イ相手の状況に応じたタックルが確実にできる。</p> <p>③ア練習やゲームで、攻撃フォーメーションの動きがタイミング良くできる。</p> <p>イ練習やゲームで、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きがタイミング良くできる。</p>	<p>①アボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②アコンタクトの動作ができる。</p> <p>イタックルの動作ができる。</p> <p>③ア練習やゲームで、攻撃フォーメーションの動きができる。</p> <p>イ練習やゲームで、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。</p>	<p>①ア体勢を崩しながらもボールをコントロールしたハンドリング、キッキングができる。</p> <p>②ア教師や仲間の助言を受けて、コンタクトの動作ができる。</p> <p>イ教師や仲間の助言を受けて、タックルが動作ができる。</p> <p>③ア教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームで、攻撃フォーメーションの動きができる。</p> <p>イ教師や仲間の助言を受けて、練習やゲームで、相手の攻撃に合わせた守備フォーメーションの動きができる。</p>
IV 知識・理解	<p>①アラグビーの攻防における、特徴的なパターンについて、説明することができる。</p> <p>②ア走跳投運動における、効果的なトレーニング方法について、具体的にあげて説明することができる。</p> <p>③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について、説明することができる。</p> <p>④アゲーム運営の仕方について、ルールや審判法を理解し、アドバイスすることができる。</p>	<p>①アラグビーの攻防における、特徴的なパターンについて、理解することができる。</p> <p>②ア走跳投運動における、効果的なトレーニング方法について、理解することができる。</p> <p>③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について、理解することができる。</p> <p>④アゲーム運営の仕方について、ルールや審判法を理解している。</p>	<p>①アラグビーの攻防において、特徴的なパターンがあることを知っている。</p> <p>②ア走跳投運動において、効果的なトレーニング方法があることを知っている。</p> <p>③アラグビーにおける攻防のシステムや技能について、教師や仲間の助言をもとに理解することができる。</p> <p>④アゲーム運営の仕方について、対応することができる。</p>

5 指導と評価の計画例「球技(ラグビー)」＜2年生(15時間)＞

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体の規準	学習活動における評価の観点
はじめ (1時間)	オリエンテーション (1) ラグビーの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自分やチームの課題を決める。 (3) チーム分けとチーム名の作成をする。毎時の学習ノートの記入の仕方を理解する。	<u>I—①</u> 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーの集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うことの楽しさを味わおうとする。 チームや自分の課題を設定しようとする。 学習ノートや学習資料の活用方法を理解しようとする。
なか1 (4時間)	ねらい1 (今ある能力で工夫) (1) チームや自分の課題を設定しながら、パスゲームを楽しむ。 (2) チームや自分の課題の発見と単元目標の設定をする。 (3) ボールをコントロールする。 (4) 安全に行えるように用具の整理をしたり、ゴールの点検をおこなう。	<u>II—②</u> 行動観察 <u>II—③</u> 行動観察 <u>I—②</u> 行動観察 <u>III—①</u> 学習ノート <u>I—④</u> 行動観察	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定して練習しようとする。 ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。 お互いに協力して練習しようとする。 ボールをコントロールしたパス、キックができる。 ボールを片付けるなどして、安全に気を配ろうとする。
なか2 (4時間)	ねらい2 (高まった能力に合わせて) (1) 個人技能と集団技能を高めながら、ゲームを楽しむ。 (2) 作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わう。 (3) 集団的技能の学習 (フォーメーションプレー) をおこなう。 (4) 個人的技能と集団技能の確認ゲームを適宜おこなう。	<u>III—②</u> 行動観察 <u>IV—①</u> 学習ノート 行動観察 <u>III—③</u> 行動観察 <u>I—①</u> 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> コンタクト、タックルの動作ができる。 技能を高める合理的な練習法について、具体例をあげている。 多くのプレーについてポイントや練習方法を知っている。 ゲームでお互いの良いところを認めあい、仲間に働きかけている。
なか3 (4時間)	ねらい3 (さらに進んだ能力で) (1) 練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定する。 (2) オフェンスのコンビネーションプレーができる。 (3) ディフェンスのコンビネーションプレーができる。 (4) まとめのゲームをおこなう。	<u>II—④</u> 行動観察 <u>I—③</u> 行動観察 <u>IV—③</u> 学習ノート <u>IV—②</u> 学習ノート 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> チームや自分の課題の達成状況をとらえ、新しい課題を設定しようとする。 スクラム、ラインアウト、モール、ラックからの攻撃ができる。 審判の判定や指示にしたがいが、勝敗や結果を受け入れようとする。 マンツーマンディフェンスの動きができる。 基本的なルールについて、具体例を上げて言ったり、書き出したりしている。 ゲームの運営の仕方について知っている。
まとめ (2時間)	自己の学習ノートの記録を手がかりにしながら、学習を振り返り、学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと、楽しくなかったことやその理由。 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 技能はどう伸びたか。	学習ノートやテスト項目、さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	<p>行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。</p> <p>(1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ラグビーに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・ゲームをしていたか。 (4) 正しいゲームの仕方について理解して、進んでおこなおうとしていたか。</p>

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目 (具体例)	評価結果			備考		
					評価	〇&×	特記事項	評価点	評価倍率	割合%
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	ラグビーの特性に興味を持っている。	A	B	C		× 1	25%
		I-①	2	作戦を立てて、勝敗を競い合う楽しさを味わおうとしている。	A	B	C		× 1	
		I-②	3	お互いに協力して練習しようとする。	A	B	C		× 1	
		I-③	4	審判の指示や判定に従っている。	A	B	C		× 1	
		I-③	5	ルールや規則を守り、公正な態度で取り組もうとしている。	A	B	C		× 1	
		I-④	6	仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に留意している。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	I-①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い、仲間に働きかけている。	A	B	C		× 2	
					合計					
II 思考・判断	行動観察	II-②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。	A	B	C		× 1	25%
		II-②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。	A	B	C		× 1	
		II-③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。	A	B	C		× 1	
		II-④	11	練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	II-①	12	学習ノートの活用方法を理解している。	A	B	C		× 1	
	II-①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。	A	B	C		× 2		
					合計					
III 運動の技能・行動観察	行動観察	III-①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じた攻撃ができる。	A	B	C		× 1	25%
		III-③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。	A	B	C		× 1	
	技能テスト	III-①	16	ボールをコントロールしたハンドリングができる。	A	B	C		× 1	
		III-①	17	ボールをコントロールしたキッキングができる。	A	B	C		× 1	
		III-②	18	コンタクトやタックルの動作ができる。	A	B	C		× 1	
		III-③	19	攻撃フォーメーション・守備フォーメーションの動きができる。	A	B	C		× 2	
					合計					
IV 知識・理解	行動観察	IV-①	20	ラグビーの特性を理解している。	A	B	C		× 1	25%
		IV-②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。	A	B	C		× 1	
		IV-③	22	ラグビーに必要な集団的技能を理解している。	A	B	C		× 1	
		IV-④	23	ゲームの運営の仕方、ルールや審判法について理解している。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	IV-②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。	A	B	C		× 1	
		IV-③	25	基本的なルールについて、言ったり、書き出したりしている。	A	B	C		× 1	
		IV-④	26	ゲームの運営の仕方について、具体的に書き出している。	A	B	C		× 1	
	テスト	IV-全	27	小テスト	A	B	C		× 10	
					合計					
総合計										

総時間数 () 時間 、 欠席時間数 () 時間 、 見学時間 () 時間

特記事項

体育授業 記録シート

年 組		実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
種目名()			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
No.	組・番 氏	評価項目番号															
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「球技(ラグビー)」

2年生 (15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	ラグビーの特性に興味をもっている。
		I-①	2	作戦を立てて、勝戦を競い合う楽しさを味わおうとしている。
		I-②	3	お互いに協力して練習しようとする。
		I-③	4	審判の指示や判定に従っている。
		I-③	5	ルールや規則を守り、公正な態度で取り組もうとしている。
		I-④	6	仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に留意している。
	学習ノート	I-①	7	ゲームでお互いの良いところを認め合い、仲間に働きかけている。
II 思考・判断	行動観察	II-②	8	自己の課題を設定して練習しようとする。
		II-②	9	チームの課題を設定して練習しようとする。
		II-③	10	ゲームにおける技能のポイントを見付けようとする。
		II-④	11	練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を設定している。
	学習ノート	II-①	12	学習ノートの活用方法を理解している。
II-①	13	チームや自己の課題を設定しようとする。		
III 運動の技能	行動観察	III-①	14	練習やゲームで自らの判断で場面に応じたハンドリング・キッキングができる。
		III-③	15	練習やゲームで相手の攻撃に対する守備を選択して対応することができる。
	技能テスト・行動観察	III-①	16	ボールをコントロールしたハンドリングができる。
		III-①	17	ボールをコントロールしたキッキングができる。
		III-②	18	コンタクトやタックルの動作ができる。
		III-③	19	攻撃フォーメーション・守備フォーメーションの動きができる。
IV 知識・理解	行動観察	IV-①	20	ラグビーの特性を理解している。
		IV-②	21	技能を高める合理的な練習法を理解している。
		IV-③	22	ラグビーに必要な集団的技能を理解している。
		IV-④	23	ゲームの運営の仕方や・ルールや審判法について理解している。
	学習ノート	IV-②	24	ゲームの運営の仕方について知っている。
		IV-③	25	基本的なルールについて、言ったり、書き出したりしている。
		IV-④	26	ゲームの運営の仕方について、具体的に書き出している。
テスト	IV-全	27	小テスト	

総時間数 () 時間 , 欠席時間数 () 時間 , 見学時間 () 時間